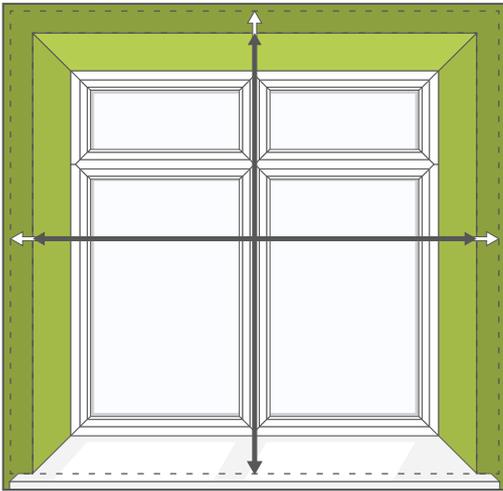


このガイドでは「天井付け」(窓の内側に取り付ける方)と「正面付け」(窓枠の上の壁に取り付ける方法)での採寸方法を説明しています。ガイドに従って必要寸法を採寸しましょう。

アドバイス：

- 立体感のある美しいウェーブを作り出すため、ウェーブカーテンには専用のレールが付属しています。通常のカーテンレールにはお取付けいただけませんのでご注意ください。
- ウェーブカーテンは採寸いただいた幅を二等分した両開き（2枚組）で製作します。片開き（シングル）カーテンをご希望の場合はお問い合わせください。

正面付け(推奨) 窓枠の外側に取り付ける場合

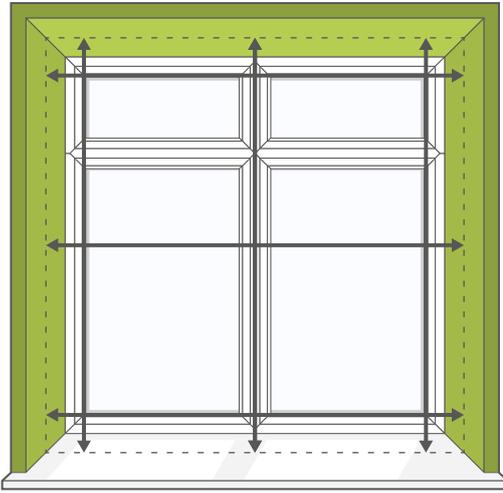


「正面付け※」は窓枠を覆うように取り付ける方法です。窓枠よりもサイズを大きくすることで、隙間からの光漏れが少なく、遮光に優れているのが特徴です。窓が大きく見える点もメリットです。

※正面付けは図のように窓上の壁面に取り付ける場合のほか窓枠正面、鴨居の正面、部屋の天井などに取り付ける場合を含みます。

- 窓枠外寸を測ります。光漏れを防ぐために、窓枠の上に15cm程度、窓枠からの左右に15cmずつの重なり分量を追加するのが一般的です。
- カーテンの裾が床などの面に触れないように少し隙間をあけるのがポイントです。丈は床から1.5cm上がおすすです。
- 重なり分量は床、建具、障害物などを考慮してお好みの長さをご指定下さい。

天井付け 窓枠の内側に取り付ける場合



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠(木枠)内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合があります。

- 窓枠内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。数値が異なる場合は、最も小さな数値でご注文下さい。
- お客様がゆとりを差し引く必要はありません。窓枠内にフィットするよう製造部門がご注文いただいた幅の数値から左右0.5cmずつ、合計1cm小さく製作します。丈は1.5cm短く製作します。
- 金属製メジャーを使用し、ミリ単位までお測り下さい。

アドバイス：

カーテンを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかもチェックしてください。



必要な奥行き

ウェーブカーテン

7.5cm